

【論文】

- 1) Kurose M, Yamamura K, Noguchi M, Inoue M, Ootaki S, Yamada Y: Modulation of jaw reflexes induced by noxious stimulation to the muscle in anesthetized rats. *Brain Res.*, 1041: 72-86, 2005.
- 2) Yamada Y, Yamamura K, Inoue M: Coordination of cranial motoneurons during mastication. *Resp. Physiol. Neurobiol.* 147(2-3): 177-189, 2005.
- 3) Miyaoka S, Hirano H, Ashida I, Miyaoka Y, Yamada Y: Analysis of head movements coupled with trunk drift in healthy subjects. *Medical & Biological Engineering & Computing*, 43: 395-402, 2005.
- 4) Fukushima S, Shingai T, Takahashi Y, Taguchi Y, Noda T, Yamada Y: Genesis of the decrement of intraluminal pressure in the UES during swallowing in rabbits. *Brain Res.*, 1044: 122-126, 2005.
- 5) Noguchi M, Kurose M, Yamamura K, Inoue M, Taguchi Y, Sessle BJ, Yamada Y: Unilateral application of an inflammatory irritant to the rat temporomandibular joint region produces bilateral modulation of the jaw-opening reflex. *Brain Res. Bull.*, 67: 182-188, 2005.
- 6) Harasawa Y, Inoue M, Ariyasinghe S, Yamamura K, Yamada Y: Changes in reflex responses of the genioglossus muscle during sleep in rabbits. *Brain Res.* 1065: 79-85, 2005.
- 7) Kijima H, Shingai T, Takahashi Y, Kajii Y, Fukushima S, Taguchi Y, Noda T, Yamada Y: Nitric oxide modulates elicitation of reflex swallowing from the pharynx in rats. *Am. J. Physiol.*, 2006 (in press).
- 8) T. Hiroto, A. Yoshihara, H. Ogawa, K. Ito, A. Igarashi, H. Miyazaki: A preliminary study on the relationship between stimulated saliva and periodontal conditions in community-dwelling elderly people. *Journal of Dentistry*, in press.
- 9) 山田好秋：基礎医学領域（咀嚼・嚥下の神経生理学）ヒストリカルレビュー．日摂食嚥下リハ会誌，9(1): 23-26, 2005.
- 10) 山田好秋，岡安一郎：「実験技術」自由運動下のマウスにおける口腔顔面領域の運動の客観的評価法．日薬理誌，126: 207-211, 2005.
- 11) 山田好秋：咀嚼・嚥下運動とその神経機構．日本全身咬合学会雑誌，11(2): 36-38, 2005.
- 12) 宮嶋晃子，林 豊彦，中村康雄，中嶋新一，小林 博，山田好秋：自律顎運動シミュレーター JSN/2B における閉口筋群の協調活動による咬合力と顎関節負荷の調節．信学技報，MBE2004-117(2005-03): 21-24, 2005.
- 13) 伊藤加代子，浅妻真澄，渡部守，竹石英之，五十嵐敦子，野村修一：口腔乾燥感を有する患者に対する保湿剤（ウェットケア）の効果，老年歯科医学，20(1), 63-67, 2005.

- 14) 鈴木昭，河野正司，野村修一，伊藤加代子，豊里晃，田巻元子，八木稔，葭原明弘，大内章嗣：介護認定申請者における要介護度別歯科疾患の実態および歯科の治療ニーズに関する研究，新潟歯学会雑誌 35：209-214，2005．
- 15) 鈴木昭，河野正司，野村修一，伊藤加代子，豊里晃，田巻元子，八木稔，葭原明弘，大内章嗣：介護認定申請者における要介護度別歯科疾患の実態および歯科ニーズに関する研究，新潟歯学会誌 35(2)：25-30，2005．
- 16) 佐川敦子，澤山 茂，五十嵐敦子，野村修一，飯田文子，山口静子：若年者と高齢者の甘味嗜好における性差の比較，日本味と匂学会誌 12 巻，361-364，2005．

#### 【著書】

- 1) 山田好秋：新潟発「食べる」(新潟大学大学院医歯学総合研究科ブックレット新潟大学編集委員会編).ブックレット新潟大学 41 新潟発「食べる」.4-5 頁，新潟日報事業社，新潟，2005.
- 3) 山田好秋：摂食・嚥下の生理学(千野直一 他編).リハビリテーション MOOK 12 言語障害・摂食嚥下障害とリハビリテーション.72-80 頁，金原出版(株)，東京，2005.
- 4) 山田好秋：咀嚼の科学(宮野佐年 他編). Monthly Book MEDICAL REHABILITATION 摂食・嚥下障害リハビリテーション実践マニュアル No.57 増刊号.212-221 頁，全日本病院出版会，東京，2005.

#### 【商業誌】

- 1) 山田好秋：見てわかる摂食・嚥下のしくみ — (神経系の基本構造 おいしさとは 食物の取り込みと粉碎 唾液 飲み込むこと(嚥下)の重要性 嚥下にかかわる身体の構造 嚥下にかかわる身体の構造 嚥下反射 嚥下反射 呼吸 発声・嘔吐 摂食・嚥下機能の障害).デンタルハイジーン ,医歯薬出版株式会社 ,25(7)-26(6): 2005—2006.
- 2) 井上 誠：どうして食べ物を細かく粉碎し磨りつぶして飲み込めるのだろうか？ ,デンタルダイヤモンド，5月号：80-83，2005．
- 3) 五十嵐敦子，渡部守，浅妻真澄，竹石英之，伊藤加代子，野村修一：味覚障害患者の臨床統計的観察．歯界展望，154号：307，2005．
- 4) 井上 誠：シリーズ企画：摂食・嚥下 - 1 .摂食・嚥下機能に関わる生体の解剖と生理を探る．歯科臨床研究，3巻：40-51，2006．

#### 【研究成果報告書】

- 1) 山田好秋，山村健介，井上 誠，阿部伸一，渡邊 裕：嚥下障害解明に向けた基礎的研究：嚥下誘発における上位脳の役割．日本学術振興会科学研究費補助金研究，基盤研

究(A) 課題番号 14207077, 2006 年 .

- 2) 山田好秋, 野村修一, 林 豊彦: 日常生活の中での頭部・体幹の姿勢変化記録の試み . 文部科学省科学研究費補助金研究, 萌芽研究 課題番号 16659529, 2006 年 .
- 3) 山田好秋, 林 孝文, 城 斗志夫, 植田耕一郎, 新井映子: 安全でおいしい新嚥下補助食を利用した家庭や介護施設における食事介助の在り方に関する研究 . 厚生労働省科学研究費補助金研究, 長寿科学総合研究事業 H16-長寿-005, 2006 年 .
- 4) 山田好秋, 新井映子, 城 斗志夫, : アジアにおける高齢者ケアと現場の食の現状調査 . 財団法人長寿科学振興財団国際共同研究事業 (長寿科学総合研究推進事業), 2006 年 .
- 5) 野村修一, 植田耕一郎, 豊里 晃, 山田好秋, 五十嵐敦子, 野村章子: ベッドサイドで使用できる摂食・嚥下機能の総合的評価システムの構築とその臨床応用 . 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(B)(2) 課題番号 15390580, 2006 年 .
- 6) 五十嵐敦子, 山田好秋, 野村修一: 高齢者の嚥下機能に対する食品の物性や感性が及ぼす影響についての基礎的研究 . 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(C) 課題番号 16591940, 2006 年 .

#### 【講演・シンポジウム】

- 1) Yamada Y: Jaw reflexes. City Dental Collage, Dhaka (Bangladesh), February 19, 2006.
- 2) Yamada Y: Dysphagia. Bangabandhu Sheikh Mujib Medical University, Dhaka (Bangladesh), February 21, 2006.
- 3) 山田好秋: シンポジウム□「咬合・咀嚼が創る健康長寿—ライフステージを俯瞰する咬合—」. 咬合の生理学的解釈・日本学術会議咬合学研究連絡委員会第 19 期第 2 回公開シンポジウム, 日本補綴歯科学会第 113 回学術大会, 大阪, 2005 年 5 月 15 日, 日本補綴歯科学会雑誌, 49(2)プログラム, 12 頁, 2005 年.
- 4) 山田好秋: 第一部講演「デンタルスクール、生涯研修と 21 世紀の歯科医療」, 第二部総合討論「医療・歯科医療はどうあるべきか」. 平成 17 年度四地区歯科医師会役員連絡協議会特別講演メインテーマ「医歯学教育・生涯教育制度が医療を変え、医療制度を変える」, 津, 2005 年 8 月 27 日.
- 5) 井上 誠: 嚥下の基礎的知識—嚥下の神経機構—. 第 4 回顎口腔機能セミナー - 咀嚼・嚥下機能の検査法 -, 新潟, 2005 年 8 月 28 日 - 30 日 .
- 6) 山田好秋: 教育講演□ 嚥下中枢と反射のメカニズム . 第 11 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2005 年 9 月 2,3 日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム抄録集, 60 頁, 2005 年.
- 7) 伊藤加代子, 田巻元子: やってみよう 介護予防のためのお口の体操, 第 114 回日本補綴歯科学会市民フォーラム, 2005 年 10 月 2 日 .
- 8) 山田好秋: 噛むことと脳のはたらき . 平成 17 年度県歯科医師会上越・柏崎地区学会, 上越, 2005 年 10 月 15 日.

- 9) 山田好秋：口から食べることがなぜ望まれるのか？ 平成 17 年度富岡甘楽歯科医師会 学術講演会，富岡，2005 年 11 月 19 日。
- 10) 山田好秋：なるほどなっとく、食べる仕組みと勘所。第 9 回伊予医師会・伊予歯科医師会主催講演会「口から食べたい」，松前，2005 年 12 月 4 日。

#### 【学会発表】

- 1) Funayama S , Ito K , Watanabe M, Igarashi A , Miyazaki H : The actual study on the relationship between oral dryness and drugs in community-dwelling elderly people , Sino-Japanese conference on stomatology, China, 2005 年 11 月 12 日。
- 2) Nomura S, Toyosato A, Igarashi A, li N, Nomura A. : A portable system to evaluate swallowing function at bedside , Sino-Japanese conference on stomatology, China, 2005 年 11 月 12 日。
- 3) Matsuki T , Ito K , Masumi S : Relationship between Menopausal Disorders and Temporomandibular Disorders , The 1<sup>st</sup> World Congress on Gender Specific Medicine , Berlin , 2006 年 2 月 23-25 日。
- 4) Yao D, Yamamura K, Murray GM, Sessle BJ: The effects of nitroglycerin on intracranial pressure and blood pressure in the rat. Society for neuroscience 35<sup>th</sup> annual meeting, Washington DC(USA), November 16, 2005.
- 5) 稲垣大悟，植田耕一郎，山田好秋：体幹角度の変化がヒト舌筋活動に与える影響。第 38 回新潟歯学会総会，新潟，2005 年 4 月 16 日，新潟歯学会誌，35(1)，87 頁，2005 年。
- 6) 岡安一郎，山田好秋，藤井弘之，大井久美子：補綴臨床におけるエビデンスを麻酔臨床に応用する。日本補綴歯科学会第 113 回学術大会，大阪，2005 年 5 月 14-15 日，日本補綴歯科学会雑誌，49(2)プログラム，17 頁，2005 年。
- 7) 木島 寛，真貝富夫，高橋義弘，梶井友佳，福島伸一，田口 洋，山田好秋：咽頭刺激による嚥下反射の NMDA-NO 経路の関与( NMDA-NO pathways are involved in reflex swallowing from the pharynx.)。第 82 回日本生理学会大会，仙台，2005 年 5 月 19 日，Jpn. J. Physiol., 55(Suppl.), S172 頁，2005 年。
- 8) Rahman M, 山村健介，井上 誠，黒瀬雅之，山田好秋：覚醒ウサギにおける咀嚼時開口反射の変調様式(Modulatory pattern of the jaw-opening reflex during mastication in awake rabbits.)。第 82 回日本生理学会大会，仙台，2005 年 5 月 19 日，Jpn. J. Physiol., 55 (Suppl.), S172 頁，2005 年。
- 9) 谷口裕重，杉田佳織，大滝祥子，井上 誠，山田好秋：食品の物性および姿勢が嚥下時の舌運動に与える影響(Effects of food consistency and body posture on tongue movements during swallowing function.)。第 82 回日本生理学会大会，仙台，2005 年 5 月 19 日，Jpn. J. Physiol., 55 (Suppl.), S173 頁，2005 年。
- 10) 金山隼人，増田裕次，加藤隆史，山村健介，栗原三郎，山田好秋，森本俊文：モルモッ

- トにおける咀嚼の進行に伴う顎運動パターンの変化(Jaw movement patterns with progress of masticatory sequence in freely moving guinea pigs.) . 第 82 回日本生理学会大会, 仙台, 2005 年 5 月 19 日, Jpn. J. Physiol., 55 (Suppl.), S178 頁, 2005 年 .
- 11) 船山さおり, 伊藤加代子, 渡部守, 竹石英之, 浅妻真澄, 五十嵐敦子, 宮崎秀夫: 自立している高齢者における口腔乾燥に関する実態調査, 第 16 回日本老年歯科医学会, 東京, 2005 年 6 月 16 日, 老年歯科医学, 20(3), 275, 2006.
  - 12) 豊里晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 野村修一, 河野正司 : 要介護者への口腔機能リハビリテーションのデイサービスでの実施とその効果, 第 16 回日本老年歯科医学会, 東京, 2005 年 6 月 16 日, 老年歯科医学, 20(3), 245, 2005.
  - 13) 木島 寛, 真貝富夫, 高橋義弘, 梶井友佳, 福島伸一, 田口 洋, 山田好秋, 野田 忠: 反射性嚥下誘発における一酸化窒素 (NO) の重要性 . 平成 17 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2005 年 7 月 9 日, 新潟歯学会誌, 35 (2), 247 頁, 2005 年 .
  - 14) 齋藤米蔵, 平野秀利, 山田好秋: 頭部運動時の関節可動域及び動揺 . 平成 17 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2005 年 7 月 9 日, 新潟歯学会誌, 35 (2), 248 頁, 2005 年 .
  - 15) 大内章嗣, 富沢美恵子, 福島正義, 山崎和久, 小野和, 五十嵐敦子, 鈴木昭, 隅田好美, 八木稔, ステロユ・ロクサーナ, 中島俊一, 石川裕子: 口腔生命福祉学科新入生を対象とした進路希望者に関するアンケート調査 2 年間の比較, 第 24 回日本歯科医学教育学会, 平成 17 年, 徳島 .
  - 16) 谷口裕重, 杉田佳織, 大瀧祥子, 井上 誠, 山田好秋: 食品の物性が嚥下時の舌運動に与える影響 . 第 11 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 名古屋, 2005 年 9 月 2,3 日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム抄録集, 186 頁, 2005 年.
  - 17) 豊里晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 野村修一, 河野正司 : 要介護者に対する「お口の体操」の実施効果, 第 11 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 愛知, 2005 年 9 月 2 日, 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会誌, 9(3), 391, 2005 年 .
  - 18) 勝良剛詞, 斎藤美紀子, 伊藤加代子, 新国農, 田中礼, 平周三, 小山純市, 西山秀昌, 林孝文: 神経性および薬剤性口腔乾燥症における耳下腺・顎下腺の超音波所見, 日本歯科放射線学会第 10 回臨床画像大会, 仙台, 2005 年 9 月 16-17 日
  - 19) 竹石英之, 五十嵐敦子, 渡部 守, 大島勇人, 野村修一: 亜鉛欠乏がラット味蕾のアポトーシスに及ぼす影響について . 日本味と匂学会第 39 回大会, 盛岡, 2005 年 9 月 26 日-28 日 .
  - 20) 佐川敦子, 澤山 茂, 山口静子, 五十嵐 敦子, 野村修一, 飯田文子: 高齢者と若年者の甘味嗜好における性差の比較 . 日本味と匂学会第 39 回大会, 盛岡, 2005 年 9 月 26 日-28 日 .
  - 21) 金山隼人, 増田裕次, 加藤隆史, 新井嘉則, 山村健介, 栗原三郎, 山田好秋, 森本俊文: 咬合挙上モルモットにおける咀嚼運動の解析 . 第 47 回 歯科基礎医学会学術大会なら

- びに総会，仙台，2005年9月28-30日，Journal of Oral Biosciences, 47( Suppl), 172 頁, 2005年.
- 22) 伊藤加代子, 田巻元子, 豊里晃, 野村修一, 河野正司 : 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発(第1報) 口腔に関する実態調査, 第114回日本補綴歯科学会, 2005年10月2日, 日本補綴歯科学会雑誌, 49, 114回特別, 151, 2005.
  - 23) 田巻元子, 伊藤加代子, 豊里晃, 野村修一, 河野正司 : 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発(第2報) 専門的口腔ケアの効果, 第114回日本補綴歯科学会, 2005年10月2日, 日本補綴歯科学会雑誌, 49, 114回特別, 152, 2005.
  - 24) 藤加代子, 安藤栄吾, 田巻元子, 豊里晃, 野村修一, 河野正司 : 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発(第3報) 義歯治療による効果, 第114回日本補綴歯科学会, 2005年10月2日, 日本補綴歯科学会雑誌, 49, 114回特別, 153, 2005.
  - 25) 豊里晃, 伊藤加代子, 田巻元子, 野村修一, 河野正司 : 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発(第4報) リハビリテーションの効果, 第114回日本補綴歯科学会, 2005年10月2日, 日本補綴歯科学会雑誌, 49, 114回特別, 154, 2005.
  - 26) 伊藤加代子, 田巻元子, 豊里晃, 野村修一, 河野正司 : 要介護者口腔保健医療ケアに係るクリニカルパスの開発(第5報) クリニカルパスの作成, 第114回日本補綴歯科学会, 2005年10月2日, 日本補綴歯科学会雑誌, 49, 114回特別, 155, 2005.
  - 27) 吉津和憲, 井上 誠, 杉野伸一郎, 豊里 晃, 山村健介, 山田好秋: 嚥下反射誘発時の関連筋活動の協調と変調. 平成17年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2005年11月5日, 新潟歯学会誌, 35(2), 259-260頁, 2005年.
  - 28) 白石葉子, 山田好秋: 移乗介助による看護師の腰部負荷. 平成17年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2005年11月5日, 新潟歯学会誌, 35(2), 266頁, 2005年.
  - 29) 河端恵美子, 五十嵐敦子, 山田好秋: 更年期女性の生活及び健康上の問題についての分析. 平成17年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2005年11月5日, 新潟歯学会誌, 35(2), 267頁, 2005年.
  - 30) 谷口裕重, 井上 誠, 山田好秋: 食品物性および姿勢が嚥下運動に与える影響. 日本顎口腔機能学会第35回学術大会, 札幌, 2005年11月12日, プログラム・事前抄録集, 12-13頁, 2005年.
  - 31) 小島正樹, 林 豊彦, 中村康雄, 中嶋新一, 小林 博, 山田好秋: 自律顎運動シミュレータ JSN/2B における咬頭嵌合位の自動設定. 日本顎口腔機能学会第35回学術大会, 札幌, 2005年11月12日, プログラム・事前抄録集, 20-21頁, 2005年.
  - 32) 伊藤加代子, 五十嵐敦子: 更年期女性の口腔乾燥感に関する検討, 第20回日本更年期医学会, 埼玉, 2005年11月13日
  - 33) 松木貴彦, 鱒見進一, 伊藤加代子: 歯科における性差~性差がみられる歯科疾患について, 第3回性差医療・医学会, 東京, 2006年2月19日
  - 34) 伊藤加代子, 松木貴彦, 五十嵐敦子: 歯科における性差~ドライマウスについて, 第3

回性差医療・医学会，東京，2006年2月19日

- 35) Rahman M, 山村健介, 井上 誠, 黒瀬雅之, 山田好秋：咀嚼時開口反射の変調様式 (Pattern of modulation of the jaw-opening reflex during mastication.) . 第83回日本生理学会大会, 前橋, 2006年3月29日, J. Physiol. Sci., 56(Suppl.), S189頁, 2006年.

#### 【研究会発表】

- 1) 井上 誠：咀嚼の神経生理学，言語聴覚士研究会，愛知，2005年9月10日。
- 2) 伊藤加代子：ドライマウス - その検査と治療について - ，第3回能登メタボリック研究会，石川，2005年9月11日。
- 3) 伊藤加代子，五十嵐敦子：ドライマウスに関する検討，第4回更年期と加齢のヘルスケア研究会，東京，2005年11月20日。
- 4) 井上 誠：摂食・嚥下障害の基礎と臨床 - エビデンスを求めて - . 身体障害領域作業療法研修会，福島，2005年12月4日。
- 5) 井上 誠：摂食・嚥下リハビリテーション .新潟リハビリテーション研究会，新潟，2006年2月6日。

#### 【その他】

- 1) 黒瀬雅之，山村健介，野口真紀子，山田好秋：顎口腔領域の深部痛による顎反射の変調 (Modulation of jaw reflexes induced by the deep pain in the craniofacial region) . 新潟歯学会誌 (最近のトピックス) , 35(2): 221-222, 2005.
- 2) 五十嵐敦子：口腔ケアと味覚・ドライマウスについて . 老人保健施設みずき苑，新潟，2005年6月24日。
- 3) 山田好秋：嚥下時の食塊の動態 . 第12回「ペパーミントの会」研修会，宮崎，2005年7月30日。
- 4) 山田好秋：摂食・嚥下機構を理解するための生理と解剖 . 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会公認セミナー「地域で展開される摂食・嚥下リハビリテーション～職種内の連携～」，長崎，2005年8月6日。
- 5) 山田好秋：摂食行動発現のしくみ . 日本咀嚼学会第4回健康咀嚼指導士講習会，東京，2005年8月20日。
- 6) 五十嵐敦子：口腔ケアとドライマウス . 白根健生病院，新潟，2005年9月12日。
- 7) 伊藤加代子：第114回日本補綴歯科学会 デンツプライ賞受賞 2005年10月2日
- 8) 山田好秋他：食べる機能の検査食、ならびに維持・回復を目的とした咀嚼強化食品の開発 (提案) . アグリビジネス創出フェア出展，東京，2005年10月6-7日。
- 9) 山田好秋他：食と花の世界フォーラム・にいがた2005 食と花の見本市プレ05出展，新潟，2005年11月5-6日。
- 10) 井上 誠：「食からの復興—災害からの教訓に学ぶ—」. 新潟大学地域連携フードサイエ

ンスセンター主催，2005年10月29日。

- 11) 田巻元子：口腔ケアセミナー「摂食・嚥下～はじめの一步～」.日本海デンタルショー in にいがた，新潟，2005年11月12・13日。
- 12) 山田好秋他：北陸食と農の交流フェア出展，金沢，2005年11月18-19日。
- 13) 伊藤加代子：第4回更年期と加齢のヘルスケア研究会 研究会奨励賞受賞 2005年11月20日
- 14) 五十嵐敦子：加齢と味覚障害 味がわからない ああなたは大丈夫．第4回更年期と加齢のヘルスケア研究会：ラウンドテーブルでのディスカッション，東京，2005年11月20日。
- 15) 山田好秋：高齢者でも楽しめる食事（ソフト食），老健にいがた第19号，2005年。
- 16) 五十嵐敦子：加齢と味覚障害．統合医療展：横浜パシフィコ，横浜，2006年1月18，19日。
- 17) 伊藤加代子：感染予防のための口腔ケア 地域県民介護講座：三条市総合福祉センター，2006年1月27日。
- 18) 山田好秋：噛んで食べる体の仕組み．日本歯科大学創立100周年記念市民健康公開フォーラム噛んで食べていきいき元気—咀嚼と咬合が創る健康長寿—，東京，2006年2月2日。
- 19) 山田好秋：高齢者における摂食・嚥下の重要性 そのメカニズムと患者指導（摂食と嚥下に関する巻頭座談会 藤谷順子氏との対談）東京 2006年2月14日 消化管Network—Physician Today—, 7(2): 2-5, 2006.
- 20) 伊藤加代子：歯科における性差医学を追求（GSM 最前線インタビュー），性差と医療，2(9):1028-1029,2005.
- 21) 山田好秋：口腔機能概論（咀嚼・嚥下）. セミナー／オーラルケア研究の最前線と食品開発—最新研究を始点とした新食品の開発のヒントを探る—，東京，2006年2月16日
- 22) 伊藤加代子：口腔機能向上のための評価とその実施法．新潟県歯科衛生士会：水原保健センター，2006年3月5日
- 23) 伊藤加代子：口腔乾燥症と味覚障害．訪問口腔衛生指導研修会：新潟市役所，2006年3月27日。